

# 大阪市の推計人口年報（令和元年）

～令和元年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和元年11月

大 阪 市

# 目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	区 別 人 口	2
5	区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

## 《利用上の注意》

### ・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は平成27年国勢調査結果による推計人口である。

### ・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

### ・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

## 1 人口総数

令和元年10月1日の大阪市の推計人口は274万202人で、前年（平成30年10月1日）と比べると1万5196人（0.6%）の増加となった。

表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成21年	2,659,796	9,126	0.3
<b>22年</b>	<b>2,665,314</b>	<b>5,518</b>	<b>0.2</b>
23年	2,668,972	3,658	0.1
24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
<b>27年</b>	<b>2,691,185</b>	<b>11,377</b>	<b>0.4</b>
28年	2,702,033	10,848	0.4
29年	2,713,157	11,124	0.4
30年	2,725,006	11,849	0.4
令和元年	2,740,202	15,196	0.6

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

## 2 男女別人口

令和元年の人口を男女別にみると、男性が132万2223人、女性が141万7979人となっている。

男女別の人口を平成30年と比べると、男性が6481人（0.5%）増、女性が8715人（0.6%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性100人に対する男性の数）は93.2となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比
		増減数（人）		増減数（人）	
平成21年	1,291,950	4,522	1,367,846	4,604	94.5
<b>22年</b>	<b>1,293,798</b>	<b>1,848</b>	<b>1,371,516</b>	<b>3,670</b>	<b>94.3</b>
23年	1,294,751	953	1,374,221	2,705	94.2
24年	1,296,740	1,989	1,377,414	3,193	94.1
25年	1,297,931	1,191	1,380,732	3,318	94.0
26年	1,297,452	△479	1,382,356	1,624	93.9
<b>27年</b>	<b>1,302,562</b>	<b>5,110</b>	<b>1,388,623</b>	<b>6,267</b>	<b>93.8</b>
28年	1,307,162	4,600	1,394,871	6,248	93.7
29年	1,311,285	4,123	1,401,872	7,001	93.5
30年	1,315,742	4,457	1,409,264	7,392	93.4
令和元年	1,322,223	6,481	1,417,979	8,715	93.2

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

### 3 世帯数

令和元年の世帯数は143万7612世帯で、1世帯当たり人員は1.91人となっている。

これを平成30年と比べると、2万4629世帯（1.7%）の増加となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向にあり、平成30年の1.93人からさらに減少し、令和元年では1.91人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数 (世帯)		増減率 (%)	1世帯当たり 人員 (人)
		増減数 (世帯)	増減率 (%)		
平成21年	1,305,639	15,888	1.2	2.04	
<b>22年</b>	<b>1,317,990</b>	<b>12,351</b>	<b>0.9</b>	<b>2.02</b>	
23年	1,324,740	6,750	0.5	2.01	
24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01	
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00	
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99	
<b>27年</b>	<b>1,354,793</b>	<b>9,738</b>	<b>0.7</b>	<b>1.99</b>	
28年	1,373,670	18,877	1.4	1.97	
29年	1,392,900	19,230	1.4	1.95	
30年	1,412,983	20,083	1.4	1.93	
令和元年	1,437,612	24,629	1.7	1.91	

太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による。

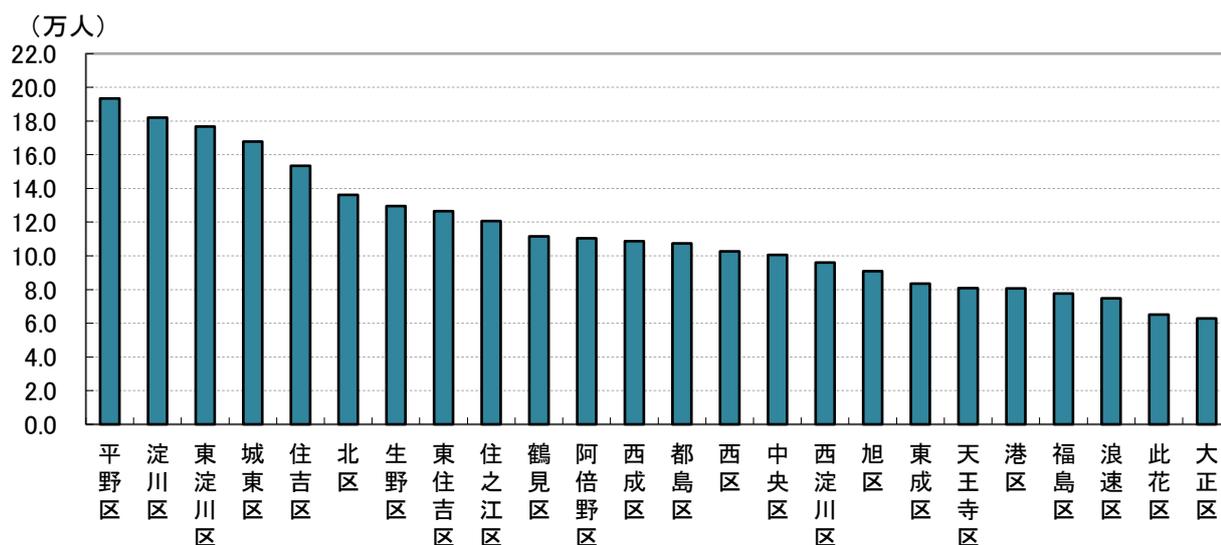
### 4 区別人口

令和元年の人口を区別にみると、平野区が19万3399人と最も多く、次いで淀川区が18万1983人、東淀川区が17万6790人、城東区が16万7815人、住吉区が15万3414人と続いている。

この1年間の人口増減数を区別にみると、北区が3165人と最も多く、次いで中央区が2467人、西区が2296人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、西成区が1040人減と最も少なく、次いで大正区が802人減、住之江区が779人減、此花区が686人減、平野区が526人減と続いている。

人口増減率は中央区が2.5%と最も高く、次いで北区、浪速区が2.4%、福島区、西区が2.3%など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、大正区が1.3%減と最も低く、次いで此花区が1.0%減、西成区が0.9%減、住之江区が0.6%減、港区が0.4%減と続いている。

図1 区別の推計人口



令和元年10月1日現在推計人口による。

表4-1 区別推計人口

区名	人口 (人)		対前年 (平成30年)	
	令和元年	平成30年	増減数 (人)	増減率 (%)
大阪市	2,740,202	2,725,006	15,196	0.6
北区	136,288	133,123	3,165	2.4
都島区	107,430	106,858	572	0.5
福島区	77,636	75,896	1,740	2.3
此花区	65,228	65,914	△ 686	△ 1.0
中央区	100,561	98,094	2,467	2.5
西区	102,733	100,437	2,296	2.3
港区	80,757	81,076	△ 319	△ 0.4
大正区	62,939	63,741	△ 802	△ 1.3
天王寺区	80,800	79,177	1,623	2.0
浪速区	74,725	72,991	1,734	2.4
西淀川区	96,066	95,749	317	0.3
淀川区	181,983	180,998	985	0.5
東淀川区	176,790	176,031	759	0.4
東成区	83,495	82,857	638	0.8
生野区	129,508	129,379	129	0.1
旭区	90,826	91,072	△ 246	△ 0.3
城東区	167,815	166,852	963	0.6
鶴見区	111,480	111,268	212	0.2
阿倍野区	110,457	109,172	1,285	1.2
住之江区	120,585	121,364	△ 779	△ 0.6
住吉区	153,414	153,361	53	0.0
東住吉区	126,563	125,907	656	0.5
平野区	193,399	193,925	△ 526	△ 0.3
西成区	108,724	109,764	△ 1,040	△ 0.9

各年10月1日現在推計人口。

表 4 - 2 人口増減数（上位 7 区）

順位	平成28年～29年		平成29年～30年		平成30年～令和元年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	北区	3,429	北区	3,711	北区	3,165
2	西区	2,145	西区	2,770	中央区	2,467
3	浪速区	1,349	淀川区	1,862	西区	2,296
4	淀川区	1,268	中央区	1,656	福島区	1,740
5	東成区	1,148	福島区	1,515	浪速区	1,734
6	天王寺区	1,082	東成区	976	天王寺区	1,623
7	福島区	1,029	天王寺区	805	阿倍野区	1,285

表 4 - 3 人口増減数（下位 7 区）

順位	平成28年～29年		平成29年～30年		平成30年～令和元年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	平野区	△ 800	平野区	△ 1,030	西成区	△ 1,040
2	住吉区	△ 519	西成区	△ 646	大正区	△ 802
3	西成区	△ 515	大正区	△ 614	住之江区	△ 779
4	港区	△ 486	此花区	△ 448	此花区	△ 686
5	住之江区	△ 410	住之江区	△ 421	平野区	△ 526
6	旭区	△ 389	生野区	△ 314	港区	△ 319
7	大正区	△ 317	鶴見区	△ 295	旭区	△ 246

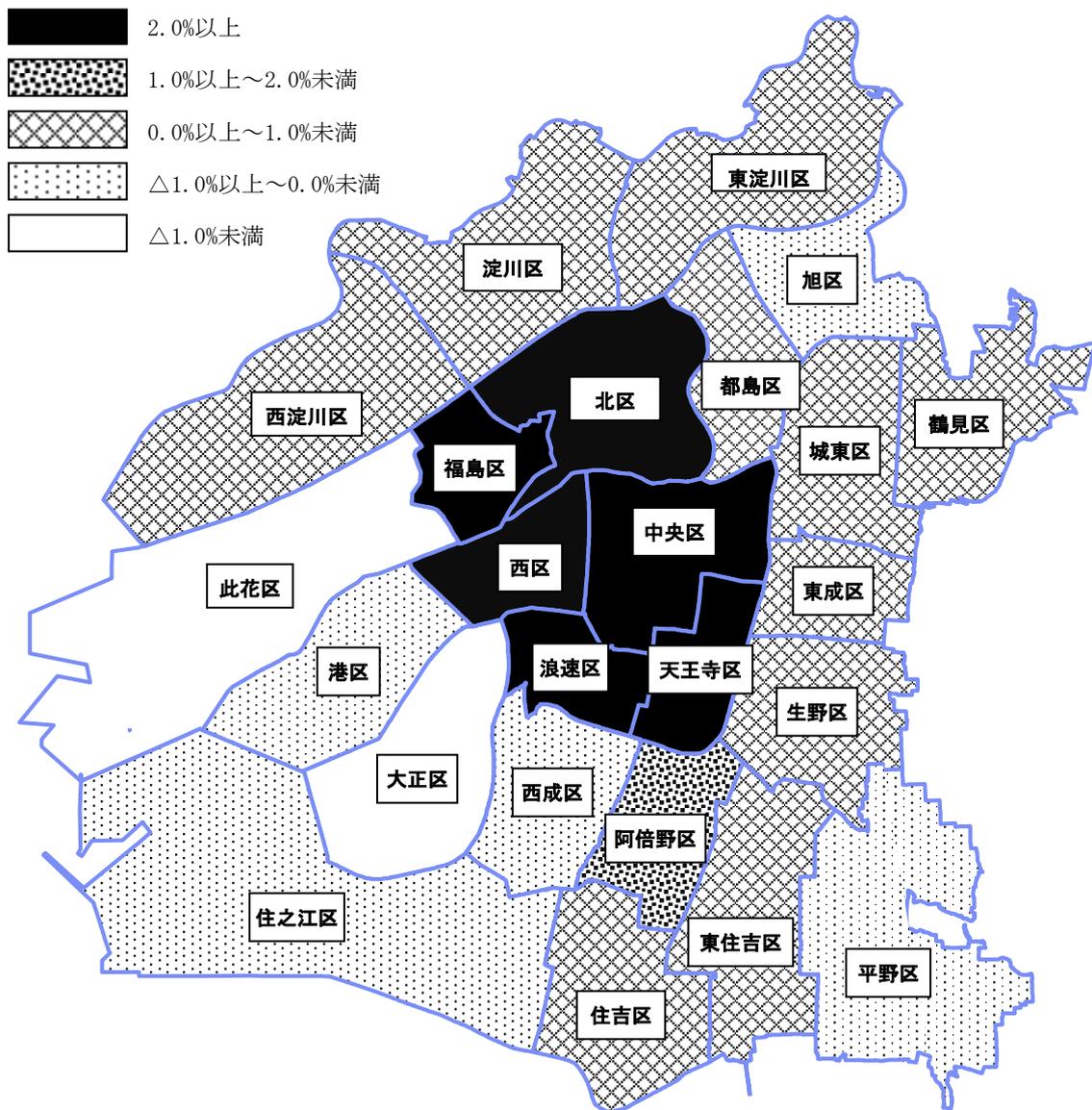
表 4 - 4 人口増減率（上位 7 区）

順位	平成28年～29年		平成29年～30年		平成30年～令和元年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	北区	2.7	北区	2.9	中央区	2.5
2	西区	2.2	西区	2.8	北区	2.4
3	浪速区	1.9	福島区	2.0	浪速区	2.4
4	東成区	1.4	中央区	1.7	福島区	2.3
5	福島区	1.4	東成区	1.2	西区	2.3
6	天王寺区	1.4	淀川区	1.0	天王寺区	2.0
7	中央区	1.0	天王寺区	1.0	阿倍野区	1.2

表 4 - 5 人口増減率（下位 7 区）

順位	平成28年～29年		平成29年～30年		平成30年～令和元年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	港区	△ 0.6	大正区	△ 1.0	大正区	△ 1.3
2	大正区	△ 0.5	此花区	△ 0.7	此花区	△ 1.0
3	西成区	△ 0.5	西成区	△ 0.6	西成区	△ 0.9
4	旭区	△ 0.4	平野区	△ 0.5	住之江区	△ 0.6
5	平野区	△ 0.4	住之江区	△ 0.3	港区	△ 0.4
6	住吉区	△ 0.3	鶴見区	△ 0.3	平野区	△ 0.3
7	住之江区	△ 0.3	生野区	△ 0.2	旭区	△ 0.3

図2 区別人口増減率の分布（平成30年～令和元年）



## 5 区別世帯数

令和元年の世帯数を区別にみると、淀川区が10万1563世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万7990世帯、平野区が9万2427世帯、北区が8万2657世帯、城東区が8万787世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の2万9713世帯で、次いで此花区が3万1505世帯、天王寺区が4万1099世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、北区が2274世帯と最も多く、次いで西区が2081世帯、中央区が1962世帯、浪速区が1753世帯と続いております。全24区のうち22区で増加となっている。

世帯数の増減率では、西区が3.6%と最も高く、次いで浪速区が3.5%、中央区及び福島区が3.1%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.32人と最も多く、次いで大正区が2.12人、西淀川区、東住吉区及び阿倍野区が2.10人、平野区が2.09人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.43人であり、次いで中央区及び西成区が1.56人、北区が1.65人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数（世帯）		対前年（平成30年）		1世帯当たり 人員（人）
	令和元年	平成30年	増減数（世帯）	増減率（%）	令和元年
大阪市	1,437,612	1,412,983	24,629	1.7	1.91
北区	82,657	80,383	2,274	2.8	1.65
都島区	55,400	54,424	976	1.8	1.94
福島区	41,449	40,201	1,248	3.1	1.87
此花区	31,505	31,505	0	0.0	2.07
中央区	64,643	62,681	1,962	3.1	1.56
西区	59,847	57,766	2,081	3.6	1.72
港区	41,379	40,981	398	1.0	1.95
大正区	29,713	29,674	39	0.1	2.12
天王寺区	41,099	40,066	1,033	2.6	1.97
浪速区	52,348	50,595	1,753	3.5	1.43
西淀川区	45,650	44,732	918	2.1	2.10
淀川区	101,563	99,874	1,689	1.7	1.79
東淀川区	97,990	96,308	1,682	1.7	1.80
東成区	43,920	42,949	971	2.3	1.90
生野区	67,081	66,128	953	1.4	1.93
旭区	44,812	44,533	279	0.6	2.03
城東区	80,787	79,448	1,339	1.7	2.08
鶴見区	48,014	47,356	658	1.4	2.32
阿倍野区	52,665	51,650	1,015	2.0	2.10
住之江区	58,764	58,323	441	0.8	2.05
住吉区	73,905	73,184	721	1.0	2.08
東住吉区	60,314	59,333	981	1.7	2.10
平野区	92,427	91,178	1,249	1.4	2.09
西成区	69,680	69,711	△ 31	△ 0.0	1.56

各年10月1日現在推計人口。

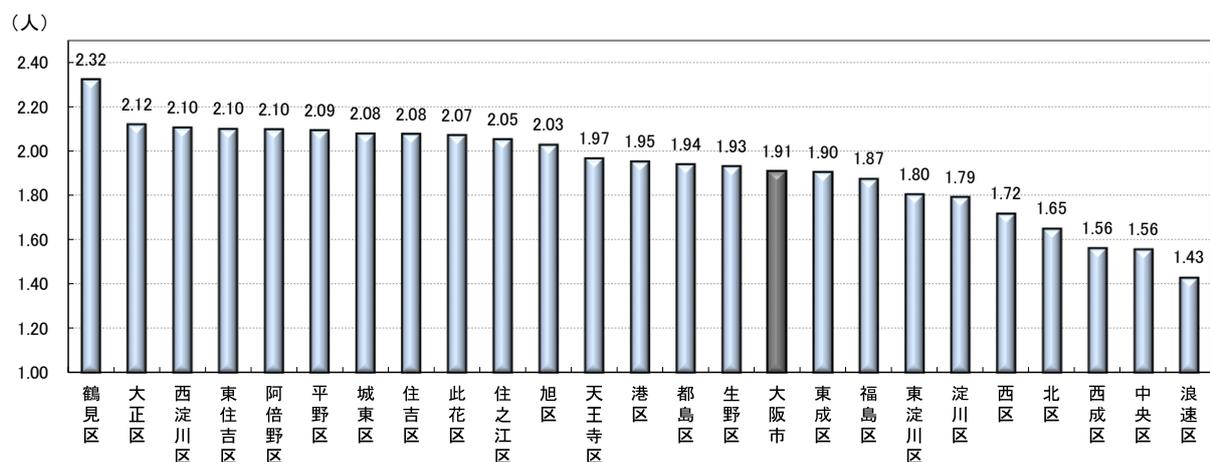
表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）			
上位5区		下位5区	
淀川区	101,563	大正区	29,713
東淀川区	97,990	此花区	31,505
平野区	92,427	天王寺区	41,099
北区	82,657	港区	41,379
城東区	80,787	福島区	41,449

1世帯当たり世帯人員(人)			
上位5区		下位5区	
鶴見区	2.32	浪速区	1.43
大正区	2.12	中央区	1.56
西淀川区	2.10	西成区	1.56
東住吉区	2.10	北区	1.65
阿倍野区	2.10	西区	1.72

令和元年10月1日現在推計人口による。

図3 区別1世帯当たり世帯人員



令和元年10月1日現在推計人口による。

## 6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

### (1) 自然動態

令和元年の自然動態（出生と死亡の差）は 8853 人の減少となり、平成 30 年の自然動態（8280 人減）と比べると、減少幅は 573 人拡大した。また、自然増減率は 3.2%減となっている。

自然増減数を区別にみると、西区が 502 人と最も多く、次いで北区が 476 人、中央区が 345 人、福島区が 221 人など 6 区で増加となっている一方、西成区が 2296 人減と最も少なく、次いで平野区が 1047 人減、生野区が 1038 人減、東住吉区が 828 人減と続いている。

自然増減率では、西区が 5.0%と最も高く、次いで北区が 3.6%、中央区が 3.5%と続いている一方、西成区が 20.9%減と最も低く、次いで大正区が 8.1%減、生野区が 8.0%減と続いている。

#### ア 出生

令和元年の出生数は 2 万 1315 人で、平成 30 年（2 万 1905 人）と比べると 590 人の減少となり、出生率は 7.8%（前年 8.1%）となっている。

出生数を区別にみると、淀川区が 1457 人と最も多く、次いで平野区が 1401 人、城東区が 1399 人、北区が 1375 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 363 人となっている。

出生率では、西区が 11.1%と最も高く、次いで福島区が 10.9%、北区が 10.3%と続いている。最も低い区は西成区の 4.0%となっている。

#### イ 死亡

令和元年の死亡数は 3 万 168 人で、平成 30 年（3 万 185 人）と比べると 17 人の減少となり、死亡率は前年と同じく 11.1%となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2735 人と最も多く、次いで平野区が 2448 人、生野区が 1891 人、東淀川区が 1837 人と続いている。死亡数が最も少ない区は天王寺区の 589 人である。

死亡率では、西成区が 24.9%と最も高く、次いで生野区が 14.6%、大正区が 13.8%と続いている。最も低い区は西区の 6.1%となっている。

#### ウ 外国人の自然動態

令和元年の自然動態のうち、外国人は 241 人の減少となり、平成 30 年の自然動態（353 人減）と比べると、減少幅は 112 人縮小した。

外国人の出生数は 738 人で、平成 30 年（649 人）と比べると 89 人の増加となっており、死亡数は 979 人で、平成 30 年（1002 人）と比べると 23 人の減少となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成21年	△ 1,703	△ 197	△ 0.6	23,346	△ 682	8.8	25,049	△ 485	9.5
22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
<b>令和元年</b>	<b>△ 8,853</b>	<b>△ 573</b>	<b>△ 3.2</b>	<b>21,315</b>	<b>△ 590</b>	<b>7.8</b>	<b>30,168</b>	<b>△ 17</b>	<b>11.1</b>

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 8,853	△ 3.2	21,315	7.8	30,168	11.1
北 区	476	3.6	1,375	10.3	899	6.8
都 島 区	△ 203	△ 1.9	801	7.5	1,004	9.4
福 島 区	221	2.9	826	10.9	605	8.0
此 花 区	△ 278	△ 4.2	482	7.3	760	11.5
中 央 区	345	3.5	978	10.0	633	6.5
西 区	502	5.0	1,119	11.1	617	6.1
港 区	△ 409	△ 5.0	589	7.3	998	12.3
大 正 区	△ 519	△ 8.1	363	5.7	882	13.8
天 王 寺 区	156	2.0	745	9.4	589	7.4
浪 速 区	△ 62	△ 0.8	618	8.5	680	9.3
西 淀 川 区	△ 345	△ 3.6	689	7.2	1,034	10.8
淀 川 区	△ 148	△ 0.8	1,457	8.0	1,605	8.9
東 淀 川 区	△ 630	△ 3.6	1,207	6.9	1,837	10.4
東 成 区	△ 186	△ 2.2	657	7.9	843	10.2
生 野 区	△ 1,038	△ 8.0	853	6.6	1,891	14.6
旭 区	△ 558	△ 6.1	663	7.3	1,221	13.4
城 東 区	△ 342	△ 2.0	1,399	8.4	1,741	10.4
鶴 見 区	19	0.2	1,035	9.3	1,016	9.1
阿 倍 野 区	△ 293	△ 2.7	844	7.7	1,137	10.4
住 之 江 区	△ 720	△ 5.9	772	6.4	1,492	12.3
住 吉 区	△ 670	△ 4.4	1,090	7.1	1,760	11.5
東 住 吉 区	△ 828	△ 6.6	913	7.3	1,741	13.8
平 野 区	△ 1,047	△ 5.4	1,401	7.2	2,448	12.6
西 成 区	△ 2,296	△ 20.9	439	4.0	2,735	24.9

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表 6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	西区	5.0	西区	11.1	西成区	24.9
2	北区	3.6	福島区	10.9	生野区	14.6
3	中央区	3.5	北区	10.3	大正区	13.8
4	福島区	2.9	中央区	10.0	東住吉区	13.8
5	天王寺区	2.0	天王寺区	9.4	旭区	13.4
6	鶴見区	0.2	鶴見区	9.3	平野区	12.6
7	淀川区	△ 0.8	浪速区	8.5	港区	12.3

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表 6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成21年	△ 402	4	476	△ 10	878	△ 14
22年	△ 473	△ 71	466	△ 10	939	61
23年	△ 502	△ 29	496	30	998	59
24年	△ 327	175	537	41	864	△ 134
25年	△ 415	△ 88	531	△ 6	946	82
26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1,002	79
<b>令和元年</b>	<b>△ 241</b>	<b>112</b>	<b>738</b>	<b>89</b>	<b>979</b>	<b>△ 23</b>

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

## （2）社会動態

令和元年の社会動態（転入と転出の差）は2万4049人の増加となり、平成30年の社会動態（2万129人増）と比べると、増加幅は3920人拡大した。また、社会増減率は8.8‰となっている。

社会増減数を区別にみると、北区が2689人と最も多く、次いで中央区が2122人、浪速区が1796人、西区が1794人、阿倍野が1578人など21区で増加となっている一方、此花区が408人減と最も少なく、次いで大正区が283人減と続いている。

社会増減率では、浪速区が24.6‰と最も高く、次いで中央区が21.6‰、北区が20.2‰、福島区が20.0‰、天王寺区が18.5‰など、市域中心部で高くなっている一方、此花区が6.2‰減で最も低く、大正区が4.4‰減と続いている。

### ア 転入

令和元年の転入数は21万1083人で、転入率は77.5‰となっている。

転入数を区別にみると、北区が1万5200人と最も多く、次いで淀川区が1万5083人、中央区が1万4893人、東淀川区が1万2914人、西区が1万1978人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2493人となっている。

転入率では、浪速区が161.7‰と最も高く、次いで中央区が151.8‰、西区が119.3‰、北区が114.2‰と続いている。転入率でも、大正区が39.1‰と最も低くなっている。

## イ 転出

令和元年の転出数は18万4095人で、転出率は67.6%となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が1万3754人と最も多く、次いで中央区が1万2467人、北区が1万2210人、東淀川区が1万1410人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の2745人となっている。

転出率では、浪速区が135.0%と最も高く、次いで中央区が127.1%、西区が100.7%、東成区が93.3%と続いている。転出率でも、大正区が43.0%と最も低くなっている。

## ウ その他増減

令和元年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、2939人減となった。

その他増減数を区別にみると、西成区で566人減と最も少なくなっている。

## エ 外国人の社会動態

令和元年の社会動態のうち、外国人は7611人の増加となり、平成30年の社会動態（6485人増）と比べると、増加幅は1126人拡大した。

外国人の転入及び入国数は4万2917人となっており、転出及び出国数は3万1803人で、平成30年と比べるといずれも増加となっている。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成21年	11,304	1,504	4.3	181,851	2,782	68.6	170,547	1,278	64.3	...	...
22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4	...	...
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5	...	...
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6	...	...
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1	...	...
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4	...	...
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3	...	...
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
<b>令和元年</b>	<b>24,049</b>	<b>3,920</b>	<b>8.8</b>	<b>211,083</b>	<b>12,080</b>	<b>77.5</b>	<b>184,095</b>	<b>8,438</b>	<b>67.6</b>	<b>△ 2,939</b>	<b>278</b>

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 区別社会動態

区名	社会 増減数 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他 増減数 (人)
大 阪 市	24,049	8.8	211,083	77.5	184,095	67.6	△ 2,939
北 区	2,689	20.2	15,200	114.2	12,210	91.7	△ 301
都 島 区	775	7.3	7,561	70.8	6,736	63.0	△ 50
福 島 区	1,519	20.0	7,530	99.2	5,965	78.6	△ 46
此 花 区	△ 408	△ 6.2	3,395	51.5	3,707	56.2	△ 96
中 央 区	2,122	21.6	14,893	151.8	12,467	127.1	△ 304
西 区	1,794	17.9	11,978	119.3	10,114	100.7	△ 70
港 区	90	1.1	4,773	58.9	4,496	55.5	△ 187
大 正 区	△ 283	△ 4.4	2,493	39.1	2,745	43.1	△ 31
天 王 寺 区	1,467	18.5	7,605	96.1	6,066	76.6	△ 72
浪 速 区	1,796	24.6	11,804	161.7	9,852	135.0	△ 156
西 淀 川 区	662	6.9	6,359	66.4	5,583	58.3	△ 114
淀 川 区	1,133	6.3	15,083	83.3	13,754	76.0	△ 196
東 淀 川 区	1,389	7.9	12,914	73.4	11,410	64.8	△ 115
東 成 区	824	9.9	8,629	104.1	7,733	93.3	△ 72
生 野 区	1,167	9.0	9,699	75.0	8,452	65.3	△ 80
旭 区	312	3.4	5,207	57.2	4,812	52.8	△ 83
城 東 区	1,305	7.8	10,647	63.8	9,324	55.9	△ 18
鶴 見 区	193	1.7	5,506	49.5	5,306	47.7	△ 7
阿 倍 野 区	1,578	14.5	8,112	74.3	6,357	58.2	△ 177
住 之 江 区	△ 59	△ 0.5	5,410	44.6	5,459	45.0	△ 10
住 吉 区	723	4.7	9,201	60.0	8,437	55.0	△ 41
東 住 吉 区	1,484	11.8	8,183	65.0	6,553	52.0	△ 146
平 野 区	521	2.7	10,325	53.2	9,803	50.6	△ 1
西 成 区	1,256	11.4	8,576	78.1	6,754	61.5	△ 566

- 1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	浪速区	24.6	浪速区	161.7	浪速区	135.0
2	中央区	21.6	中央区	151.8	中央区	127.1
3	北区	20.2	西区	119.3	西区	100.7
4	福島区	20.0	北区	114.2	東成区	93.3
5	天王寺区	18.5	東成区	104.1	北区	91.7
6	西区	17.9	福島区	99.2	福島区	78.6
7	阿倍野区	14.5	天王寺区	96.1	天王寺区	76.6

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成21年	1,635	△ 617	20,608	24	18,973	641	…	…
22年	1,345	△ 290	20,320	△ 288	18,975	2	…	…
23年	1,003	△ 342	21,205	885	20,202	1,227	…	…
24年	2,313	1,310	20,793	△ 412	18,480	△ 1,722	…	…
25年	2,617	304	20,889	96	18,272	△ 208	…	…
26年	861	△ 1,756	22,206	1,317	21,345	3,073	…	…
27年	6,438	5,577	25,517	3,311	19,079	△ 2,266	…	…
28年	5,095	△ 1,343	30,001	4,484	20,931	1,852	△ 3,975	…
29年	5,947	852	33,701	3,700	23,516	2,585	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665
<b>令和元年</b>	<b>7,611</b>	<b>1,126</b>	<b>42,917</b>	<b>5,709</b>	<b>31,803</b>	<b>4,653</b>	<b>△ 3,503</b>	<b>70</b>

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

## 7 年齢別人口

### (1) 年齢(3区分)別人口

令和元年の人口について年齢（3区分）別割合をみると、0～14歳人口（年少人口）は10.7%、15～64歳人口（生産年齢人口）は63.6%、65歳以上人口（老年人口）は25.7%となっており、15～64歳人口の割合が、平成30年（63.5%）と比べて上昇している。

表7-1 年齢（3区分）別推計人口

年次	人口（人）					割合（%）				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成27年	2,691,185	295,298	1,682,798	668,698	317,893	100.0	11.2	63.6	25.3	12.0
28年	2,702,033	295,112	1,715,126	691,795	338,313	100.0	10.9	63.5	25.6	12.5
29年	2,713,157	294,360	1,720,620	698,177	350,113	100.0	10.8	63.4	25.7	12.9
30年	2,725,006	293,702	1,729,348	701,956	359,673	100.0	10.8	63.5	25.8	13.3
<b>令和元年</b>	<b>2,740,202</b>	<b>292,880</b>	<b>1,742,849</b>	<b>704,473</b>	<b>368,455</b>	<b>100.0</b>	<b>10.7</b>	<b>63.6</b>	<b>25.7</b>	<b>13.4</b>

- 1 平成27年は国勢調査結果。平成28年以降は10月1日現在年齢別推計人口。
- 2 平成27年の人口総数は年齢「不詳」を含むため、年齢（3区分）別人口の合計と一致しない。
- 3 平成27年の構成比は年齢「不詳」を除いて算出している。
- 4 平成28年以降は年齢「不詳」を各歳に按分している。

### (2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢（3区分）別人口を平成30年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは北区の541人で、最も減少が大きいのは平野区の616人減となった。生産年齢人口では、北区の2396人が最も多く、最も減少が大きかったのは住之江区の844人減であった。老年人口では、淀川区の360人が最も多く、最も減少が大きかったのは西成区の426人減であった。

表7-2 区別の年齢（3区分）別人口

区名	令和元年				平成30年からの増減数		
	総数	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上
大 阪 市	2,740,202	292,880	1,742,849	704,473	△ 822	13,501	2,517
北 区	136,288	12,670	98,311	25,307	541	2,396	228
都 島 区	107,430	11,932	68,840	26,659	△ 83	371	285
福 島 区	77,636	9,235	53,221	15,180	299	1,358	82
此 花 区	65,228	7,480	39,769	17,979	△ 179	△ 513	5
中 央 区	100,561	9,293	74,992	16,276	336	1,990	141
西 区	102,733	11,825	74,827	16,081	212	1,885	200
港 区	80,757	8,306	49,905	22,546	△ 128	△ 140	△ 50
大 正 区	62,939	6,560	36,408	19,971	△ 234	△ 505	△ 62
天 王 寺 区	80,800	10,762	53,629	16,409	409	880	334
浪 速 区	74,725	5,032	55,685	14,009	99	1,557	79
西 淀 川 区	96,066	11,177	60,435	24,454	△ 315	565	67
淀 川 区	181,983	17,965	121,563	42,454	△ 209	832	360
東 淀 川 区	176,790	16,968	115,611	44,211	△ 250	679	330
東 成 区	83,495	8,584	53,629	21,282	△ 15	582	72
生 野 区	129,508	11,502	76,567	41,439	△ 28	165	△ 8
旭 区	90,826	9,390	54,158	27,277	△ 8	△ 178	△ 61
城 東 区	167,815	20,194	104,511	43,110	△ 114	847	230
鶴 見 区	111,480	16,437	69,512	25,530	△ 207	183	235
阿 倍 野 区	110,457	14,039	68,228	28,190	263	947	75
住 之 江 区	120,585	12,752	70,589	37,243	△ 239	△ 844	303
住 吉 区	153,414	17,681	92,750	42,982	△ 167	160	59
東 住 吉 区	126,563	14,121	75,360	37,082	0	736	△ 79
平 野 区	193,399	21,825	116,036	55,538	△ 616	△ 26	116
西 成 区	108,724	7,149	58,313	43,262	△ 189	△ 425	△ 426

各年10月1日現在年齢別推計人口。年齢「不詳」は各歳に按分している。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が14.7%と最も高く、次いで天王寺区が13.3%、阿倍野区が12.7%と続く。最も低いのは西成区の6.6%となっている。

生産年齢人口では中央区が74.6%と最も高く、次いで浪速区が74.5%と続く。最も低いのは西成区の53.6%となっている。

老年人口では西成区が39.8%と最も高く、次いで生野区が32.0%と続く。最も低いのは西区の15.7%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	令和元年 (%)			平成30年からの変化 (ポイント)			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大阪市	100.0	10.7	63.6	25.7	△ 0.09	0.14	△ 0.05
北区	100.0	9.3	72.1	18.6	0.19	0.08	△ 0.27
都島区	100.0	11.1	64.1	24.8	△ 0.14	0.00	0.13
福島区	100.0	11.9	68.6	19.6	0.12	0.22	△ 0.34
此花区	100.0	11.5	61.0	27.6	△ 0.15	△ 0.14	0.29
中央区	100.0	9.2	74.6	16.2	0.11	0.15	△ 0.26
西区	100.0	11.5	72.8	15.7	△ 0.05	0.21	△ 0.16
港区	100.0	10.3	61.8	27.9	△ 0.12	0.07	0.05
大正区	100.0	10.4	57.8	31.7	△ 0.24	△ 0.06	0.30
天王寺区	100.0	13.3	66.4	20.3	0.24	△ 0.25	0.01
浪速区	100.0	6.7	74.5	18.7	△ 0.02	0.36	△ 0.34
西淀川区	100.0	11.6	62.9	25.5	△ 0.37	0.38	△ 0.01
淀川区	100.0	9.9	66.8	23.3	△ 0.17	0.10	0.07
東淀川区	100.0	9.6	65.4	25.0	△ 0.18	0.10	0.08
東成区	100.0	10.3	64.2	25.5	△ 0.10	0.21	△ 0.11
生野区	100.0	8.9	59.1	32.0	△ 0.03	0.07	△ 0.04
旭区	100.0	10.3	59.6	30.0	0.02	△ 0.03	0.01
城東区	100.0	12.0	62.3	25.7	△ 0.14	0.15	△ 0.01
鶴見区	100.0	14.7	62.4	22.9	△ 0.21	0.05	0.17
阿倍野区	100.0	12.7	61.8	25.5	0.09	0.14	△ 0.23
住之江区	100.0	10.6	58.5	30.9	△ 0.13	△ 0.32	0.45
住吉区	100.0	11.5	60.5	28.0	△ 0.11	0.08	0.03
東住吉区	100.0	11.2	59.5	29.3	△ 0.06	0.27	△ 0.22
平野区	100.0	11.3	60.0	28.7	△ 0.29	0.15	0.14
西成区	100.0	6.6	53.6	39.8	△ 0.11	0.12	△ 0.01

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)
1	鶴見区	14.7	中央区	74.6	西成区	39.8
2	天王寺区	13.3	浪速区	74.5	生野区	32.0
3	阿倍野区	12.7	西区	72.8	大正区	31.7
4	城東区	12.0	北区	72.1	住之江区	30.9
5	福島区	11.9	福島区	68.6	旭区	30.0
6	西淀川区	11.6	淀川区	66.8	東住吉区	29.3
7	住吉区	11.5	天王寺区	66.4	平野区	28.7

令和元年10月1日現在の人口に対する割合である。

表 7-5 年齢（3区分）別人口割合の変化（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）
1	天王寺区	0.24	西淀川区	0.38	住之江区	0.45
2	北区	0.19	浪速区	0.36	大正区	0.30
3	福島区	0.12	東住吉区	0.27	此花区	0.29
4	中央区	0.11	福島区	0.22	鶴見区	0.17
5	阿倍野区	0.09	西区	0.21	平野区	0.14
6	旭区	0.02	東成区	0.21	都島区	0.13
7	浪速区	-0.02	中央区	0.15	東淀川区	0.08

平成30年10月1日現在の人口割合に対する変化である。

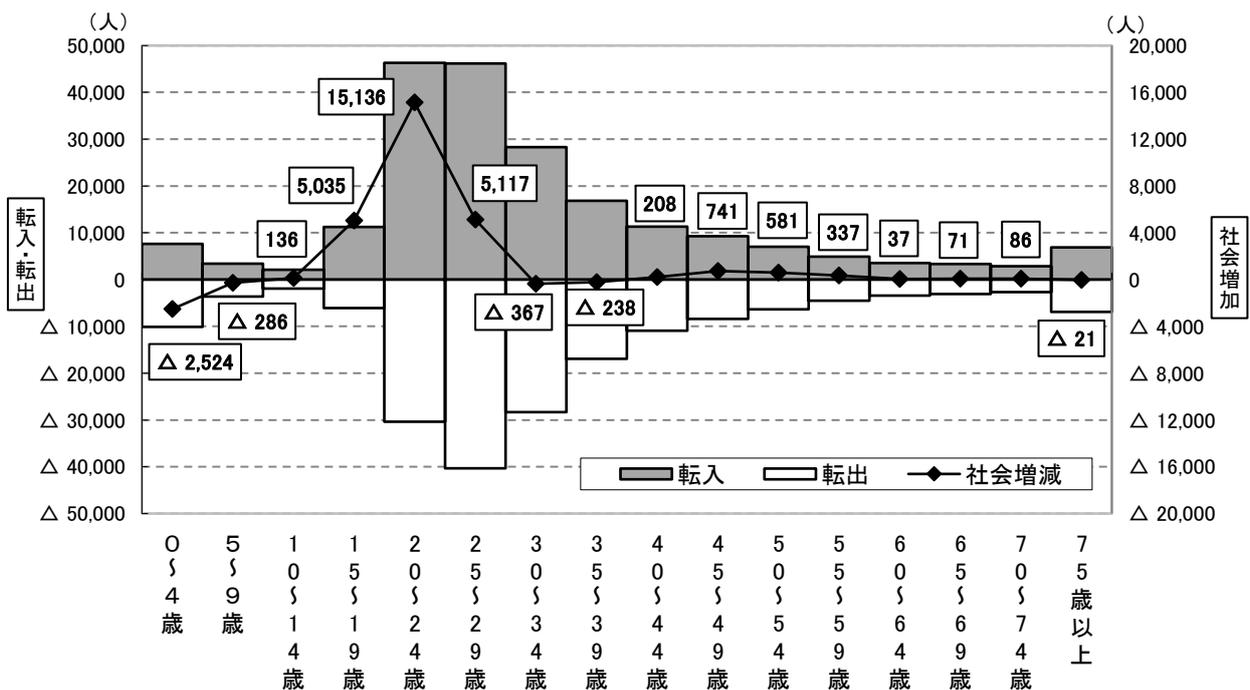
(3) 年齢(5歳階級)別社会動態

令和元年の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの各階級で5000人を超える増加となっており、特に「20～24歳」では1万5136人となっている。これに対して、30歳から39歳及び0歳から9歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）では減少となっている。

表 7-6 年齢（5歳階級）別転入、転出、その他増減及び社会増減数

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	7,613	3,379	2,092	11,218	46,325	46,161	28,316	16,863
転出	10,111	3,635	1,946	6,116	30,389	40,316	28,319	16,910
その他増減	△ 26	△ 30	△ 10	△ 67	△ 800	△ 728	△ 364	△ 191
社会増減	△ 2,524	△ 286	136	5,035	15,136	5,117	△ 367	△ 238
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入	11,291	9,281	7,039	4,920	3,536	3,314	2,849	6,886
転出	10,965	8,433	6,338	4,516	3,436	3,101	2,677	6,887
その他増減	△ 118	△ 107	△ 120	△ 67	△ 63	△ 142	△ 86	△ 20
社会増減	208	741	581	337	37	71	86	△ 21

図 4 年齢（5歳階級）別社会動態



#### (4) 区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、(3)で増加と述べた15歳から29歳までの各階級合計を区別で見ると北区が2496人と最も多く、次いで淀川区が2490人、中央区が2465人、浪速区が2405人と続いている。(3)で減少と述べた30歳から39歳までの各階級合計を区別で見ると淀川区が537人減と最も減少が大きく、次いで東淀川区が406人減、浪速区が235人減、港区が196人減、此花区が183人減と続いている。

表7-7 区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

区名	(人)							
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	△ 2,524	△ 286	136	5,035	15,136	5,117	△ 367	△ 238
北区	△ 278	22	34	306	1,469	721	113	18
都島区	△ 103	△ 14	9	94	656	253	△ 39	△ 2
福島区	△ 30	△ 1	13	62	650	389	219	108
此花区	△ 106	△ 38	△ 17	141	△ 1	△ 22	△ 116	△ 67
中央区	△ 208	△ 15	2	316	1,542	607	△ 8	21
西区	△ 323	△ 32	△ 7	227	1,547	558	△ 51	△ 46
港区	△ 88	△ 31	△ 1	69	434	72	△ 80	△ 116
大正区	△ 46	△ 26	△ 6	6	10	△ 70	△ 39	△ 47
天王寺区	142	114	33	97	320	122	195	215
浪速区	△ 220	△ 47	△ 16	473	1,578	354	△ 202	△ 33
西淀川区	△ 95	△ 22	△ 2	145	444	279	△ 16	△ 77
淀川区	△ 393	△ 108	△ 11	320	1,748	422	△ 281	△ 256
東淀川区	△ 274	△ 43	28	481	1,284	147	△ 254	△ 152
東成区	△ 79	△ 12	16	210	654	208	△ 86	△ 58
生野区	△ 48	△ 10	11	620	548	△ 53	△ 16	△ 37
旭区	△ 29	△ 14	20	68	174	65	△ 58	11
城東区	△ 124	△ 14	19	171	535	320	127	60
鶴見区	△ 39	△ 46	△ 26	△ 36	87	117	23	23
阿倍野区	201	91	42	208	179	216	283	211
住之江区	△ 91	△ 28	22	50	74	△ 48	△ 87	△ 64
住吉区	△ 94	21	29	239	291	183	23	4
東住吉区	68	27	0	151	393	275	118	59
平野区	△ 218	△ 50	△ 42	214	244	△ 1	△ 61	△ 44
西成区	△ 49	△ 10	△ 14	403	276	3	△ 74	31

区名	(人)							
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大阪市	208	741	581	337	37	71	86	△ 21
北区	99	130	159	73	12	△ 21	△ 52	△ 116
都島区	4	30	△ 26	18	△ 24	△ 6	△ 24	△ 51
福島区	67	16	32	16	9	3	△ 17	△ 17
此花区	△ 39	9	△ 6	△ 8	△ 38	△ 28	△ 22	△ 50
中央区	△ 43	78	23	△ 1	△ 24	△ 43	△ 46	△ 79
西区	5	41	13	△ 16	△ 46	△ 34	△ 18	△ 24
港区	△ 65	△ 5	△ 11	19	△ 24	△ 28	△ 23	△ 32
大正区	7	33	△ 11	△ 9	△ 28	△ 2	0	△ 55
天王寺区	89	61	23	△ 6	9	△ 6	20	39
浪速区	△ 74	△ 10	16	0	△ 28	△ 12	△ 2	19
西淀川区	22	△ 13	15	6	7	△ 16	25	△ 40
淀川区	△ 124	18	5	△ 7	△ 43	△ 35	△ 24	△ 98
東淀川区	△ 25	67	48	△ 31	△ 1	22	0	92
東成区	3	△ 33	44	14	4	5	△ 10	△ 56
生野区	△ 11	26	△ 17	8	12	△ 7	31	110
旭区	12	12	24	9	12	32	△ 17	△ 9
城東区	103	53	3	17	18	△ 13	17	13
鶴見区	△ 2	9	△ 23	8	9	10	12	67
阿倍野区	125	68	42	△ 7	6	△ 9	△ 22	△ 56
住之江区	12	△ 9	23	12	23	25	7	20
住吉区	△ 24	29	11	13	△ 5	28	16	△ 41
東住吉区	28	89	42	48	46	33	10	97
平野区	6	△ 17	45	58	43	64	108	172
西成区	33	59	107	103	88	109	117	74